



あのお



6年生から在校生への温かいメッセージが掲示されています。

6年生の卒業まで、あとわずかとなりました。6年生は、卒業式に向けて練習に励んでいます。卒業式は、6年生にとっては小学校最後の学習の場です。最後までしっかりと頑張ろうという6年生の思いが練習の中でいっぱい伝わってきます。今年は、在校生を代表して6年生からバトンを引き継ぐ5年生が参列します。5年生も卒業式に向けて本当によく頑張っています。

今、校舎内の学年の掲示板に、お祝いのメッセージや飾りなどが掲示されています。6年生の学年の掲示板では、「在校生のみなさんへ」のメッセージが掲示され、6年生一人一人が、在校生に向けて温かいメッセージを鳩に乗せて書いてくれています。



【「在校生のみなさんへ」6年生のメッセージ】

- これから6年生になる5年生へ、たくさん大変なことがあると思いますが、あきらめずに前を向いてください。そうすれば、いいことはあります。
- 在校生へ、「いいあのお」を守り、心あたたかい穴生小学校にできるようにがんばってください。

- 学年が上がっていくに連れ、授業はむずかしくなるけど、あきらめずに全力でがんばってください。そして、友達とも仲よくして、いい小学校生活を送ってください。
- みなさんは、もうすぐ一学年上がり新しい景色を見ることとなります。「いいあのお」やルール、きまりを守って一日一日を大切に、くいのないように過ごしてください。特に、5年生は穴生小学校のリーダーです。お手本になるようにがんばって過ごしてください。

校長の道徳科の「卒業記念授業」を行いました。

「夢」という教材を使って、中学へと向かう6年生が、自分の夢や目標に向かって努力しているとする心の温度を高めたいことを願って、道徳科の授業を行いました。教材の主人公の思いを自分事として深く考える6年生の姿に感動しました。

【6年生の「振り返りシート」より】

- これまでの自分は、何かに失敗してしまったら、そこであきらめてしまっても努力を続けることができなかつたけど、この学習を通して何かあっても努力を重ねることが大切ということが分かりました。夢はただの目標だと思っていたけど、夢は自分を成長させる「カギ」になると分かりました。
- これまでの自分は、少しでも苦しかったり、つらかったりしたら、やめてしまった経験がありました。でも、自分が今できるベストをつくして前に向かって走っていくということが大切だと今回の学習で学びました。がんばっていた努力が、もしむくわれなかったとしても、それをまたバネにして、次のチャレンジに生かしていきたいと思いました。
- この学習で学んだことは、むだな経験なんて一つもなくて、ずっと積み重ねていけば、いつかはむくわれるとういうことです。このことをふまえて、これからいろいろなことにあきらめずにチャレンジしていきたいと思います。



道徳科の学習をする
6年生と校長

